

2019 年度

中国留学報告書

実習先：北京師範大学
実習期間：8月26日～12月28日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018025
小野侑朔

目次

1 留学先及び実習期間	3
2 留学先概要	3
3 留学目的	3
4 留学内容	4
4 - 1 留学のスケジュール	
4 - 2 留学の詳細	
5 所感	5
6 終わりに	6

謝辞

付録

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

期間：2019年8月26日～2019年12月28日

2 留学先概要

〈大学概要〉

北京市海淀区にあり、中国の教育系総合大学の上のほう。北京大学、清華大学、中国連民大学とともに北京四大大学と称される。これまで124の国と地域から4500名余りの留学生を受け入れており、日本を含む30余りの国と地域の300近い大学や研究機関と提携関係を結んでいる。

3 留学の目的

今回の留学での目的は、中国語を上達させHSK試験で4級合格、またその後の5級6級合格に繋げるために現地で多くの人と中国語を使い会話をすることを心掛けた。また、古くから日本との関係のある、今大きく発展している中華人民共和国の文化や生活などを実際に体験して理解を深めることも目標にしていた。約4か月間だけだが与えられた期間を有意義なものにできるように心掛けた。

4 留学内容

4-1 留学のスケジュール

以下から、留学の内容を記述する。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限		スピーキング		スピーキング	
2限	リーディング	リーディング	リスニング	リーディング	スピーキング
昼休み					リスニング
3限	リスニング				
4限		中華才芸			

この表は1週間の授業の時間割例である。

4-2 留学の詳細

(1) リスニング

リスニングの授業では、毎回教科書の本文の音源を聴きながら、再生された部分を口に出して読み、本文の内容を終えるとスマホを使用して復習問題を解くなど、中国語を聞いて理解する力を養う授業であった。

(2) リーディング

リーディングの授業では、基本的に教科書内の本分とテキストの問題を解きながら進めていく授業であった。また、章ごとに出てくる新出単語の使い方を学ぶため、新出の単語や文法を使い、短い文を作るというものもほぼ毎時間行っていた。

(3) スピーキング

スピーキングの授業では、クラスメイトと授業で習ったものを利用して会話をしたり、劇のようなことをした。また、パワーポイントを作成して発表することもあった。

(4) 中華才芸

中華才芸の授業では、まず初めに書道、次に切り絵、次に茶道、最後に太極拳を教わった。中国の古くからの文化を体験することができた。

(5) 日中交流会

国際情報大学の学生と、北京師範大学の日本語学科の学生による交流会であった。事前に準備をしていた出し物を発表しあったり、グループで会話などをした。中国語が上手になった。

(6) 新入生歓迎会

中国では9月が入学シーズンのため、北京師範大学に在籍している日本学生の方たちが日本人留学生、新入生を迎え入れる食事会を催してくださいました。

(7) 内モンゴル旅行

内モンゴルへの二泊三日旅行に参加した。砂漠でラクダに乗ったり、草原で馬に乗ったりなどモンゴルの文化に触れることができた。ゲルでの宿泊は寒すぎて死ぬかと思ったが、馬乳酒のおかげで体が温まった。夜は外で流れ星を見ることもできた。お勧め。

(8) 安徽省修学旅行

安徽省に1週間くらいいた。紙をすいたり、墨づくりや硯づくりを見たりなど文化に触れた。また、黄山での登山はロープウェイの距離が短くたくさん歩いたので究極に疲れた。あし PANPAN

5 所感

今回の4か月間の留学についてまとめる。

(1) 語学力の向上

留学当初は授業で先生が言っていることで聞き取れないことも何回かあったが、クラスメイトや中国人の友達に教えてもらうことで全部聞き取れるようになったし、普通に買い物もできるようになった。また HSK 考試では4級に合格した。5、6級も取得できるようにまだまだ勉強したい。

(2) 内面的な成長

自分は留学に行く以前から中国人だけでなく、多くの国々の人と友達になりたいと考えていたが、実際に北京師範大学に限らず北京大学や清華大学の学生とも知り合いになるなど積極的に人々と関わることができてよかった。

6 終わりに

先にも述べたように自分は今回の中国留学で多くのことを経験し、語学力の向上、多くの人と関わるという目標を達成できた。だがここで終わらず留学で得た経験をしっかり次につなげて無駄にしないようにしたい。中国で老若男女問わず多くの人と関わるように心掛けていた。実際に実行できてよかった。また、現在も留学時にできた友達の中で定期的にあっている友達もいる。春節は台湾の友達の実家に行き親戚の方々と過ごさせてもらい、留学後もよい経験ができた。このように今回の留学をきっかけに留学後もさらなる成長ができるように努力をしていきたい。

謝辞

まず初めに今回北京師範大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった老師の皆様、現地で困ったとき助けてくださった日本人会の皆さんをはじめとする関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国短期留学担当で留学に行くにあたって指導してくださった建英先生、若菜先生には心より感謝いたします。最後になりましたが、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、今回の中国短期留学に参加することができ有意義な時間を過ごすことができたことに心より感謝いたします。

付録

